

（様式2） 実行計画管理シート

| 事業名 | | 156-1 | 枚方市駅周辺再整備ビジョン推進事業 | 部・課 | 市駅周辺等まち活性化部 |
|--------------|-------------------|-------|--|-----|-------------|
| 総合計画との関係 | 基本目標等 | | 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち | | |
| | 施策目標等 | | 18 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち | | |
| | 取り組みの方向 | | 18-① 利便性が高く、魅力あふれる中心市街地の形成に向けて、商業、文化芸術、居住施設をはじめ、緑化等による景観など、交通結節点におけるさまざまな機能を充実できるよう、枚方市駅周辺の再整備を進めます。 | | |
| | （関連施策目標等） | | | | |
| | （関連施策目標等） | | | | |
| | 4つの重点的に進める施策との関係 | | 4 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる | | |
| との合戦関係略 | 基本目標 | | 1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める | | |
| | 施策目標 | | 5 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち | | |
| 市長公約との関係 | | | ＜所信表明・市政運営方針での表現＞ | | |
| | 所信表明 | ○ | 枚方市駅周辺再整備では、これまで検討を行ってきた枚方市駅周辺再整備ビジョンを早期に具体化し、再整備の道筋を確実なものとする。新庁舎の整備については、官公庁団地エリアで国・府・市による庁舎の一体的整備に向けて、民間施設との合築も含めた検討を行い、市民生活を総合的にサポートする拠点の新たな形を示し、その実現に向け取り組みを進める。さらに、現在の市民会館や庁舎敷地などで民間活力の導入を見据えた魅力ある商業施設やホテル、高層マンションの誘致など、賑わいを取り戻すための検討を行う。 | | |
| | 2016(H28)年度市政運営方針 | ○ | まちの将来像を見据え、大阪府住宅供給公社枚方団地や京阪電鉄枚方事務所、旧長崎屋枚方店を含む街区については、駅前広場の拡充や防災面などにすぐれた魅力あるまちづくりを一体的に、かつ、できる限り早期に進めるため、市民・事業者等の理解をさらに深めながら市街地再開発事業の事業化に向け取り組むとともに、平成30年度を目標に都市計画決定をめざす。併せて、旧三越枚方店を含む街区については、市民・事業者と連携・協力しながら、駅前広場の拡充や賑わいの創出につながる土地利用の具体化に向け取り組みを進める。特に官公庁団地を含む街区においては、公的ストックの活用モデルとなるよう、国や大阪府と連携・協力しながら、民間施設を含む庁舎の一体的整備に向けて、財政負担の軽減などさまざまな角度から効率的・効果的な整備手法を検討する。現市民会館の跡地を含む街区への民間活力導入を検討し、魅力ある商業施設やホテル、高層マンションの誘致を働きかける。これら枚方市駅周辺再整備を全体的かつ円滑に推進していくためには、市民・事業者等をはじめ多様な主体との協働が必要であり、そのため、現在、北大阪商工会議所と協力して取り組んでいる枚方市駅周辺活性化検討準備会を発展させるなど、新たな協議会組織の立ち上げを進める。併せて、庁内体制の強化を図るため、戦略監を枚方市駅周辺再整備の総合調整担当に位置づける。 | | |
| | 2017(H29)年度市政運営方針 | ○ | 枚方市駅周辺再整備ビジョンのさらなる具体化に向けては、まちの将来像を見据え、市駅周辺に多くの人が集まることはもとより、商業や交流・賑わいの中心拠点として発展させていくことを念頭に置き取り組んでいく。あわせて、新庁舎の整備については、国や大阪府と連携、協力するとともに、まちづくり全体を見据えて検討を進める必要がある。そのため、新たに担当部署を設置するなど庁内体制の強化を図り、平成29年度のできる限り早い時期に、具体化に向けた道筋を明らかにする。さらに、市駅周辺の活性化を促進するため、北大阪商工会議所や事業者との連携によるエリアマネジメントを推進する。 枚方市駅周辺の交通環境の改善については、引き続き、天野川に沿った新たな外周道路の整備や枚方市駅北口から（仮称）総合文化芸術センターへの歩行者動線の整備、駅高架下道路を活用したバスを中心とする公共交通の環境改善に向けた検討を進める。 | | |
| | 2018(H30)年度市政運営方針 | ○ | ・枚方市駅周辺再整備については、20年、30年後の未来においても歴史や文化、自然など多くの地域資源を生かした魅力あふれる本市の中心拠点の実現に向けて、国・府などと連携・協力して取り組みを進めている。 平成30年度は、その実現可能なロードマップを明らかにするため、本市の財政状況を踏まえつつ、民間アドバイザーからの意見や枚方市駅周辺活性化協議会、三者協定に基づく事業者との意見交換などを行いながら枚方市駅周辺再整備基本計画を策定し、連鎖的なまちづくりの具体化を推し進める。 ・歩道拡幅や天野川に沿った外周道路の整備など、交通環境の基盤整備を進める。 ・これまで以上に便利になったと感じてもらえるよう、図書館機能をはじめ駅近のメリットを生かした市役所の窓口など、行政機能の充実に向けた検討を行う。 | | |
| 事業概要（目的・内容等） | | | 枚方市駅周辺地域が、本市の中心市街地として魅力あふれる賑わいのあるまちとなるよう地域に関わる方々と連携を図りながら、枚方市駅周辺再整備ビジョンの実現に向けた取り組みを進める。 | | |

取り組み状況

| | | | | | |
|------------------|--------|--|--|--|--|
| これまでの取り組み状況 | | 枚方市駅周辺再整備ビジョン策定後、その具体化を図るため、平成26・27年度の2ヵ年で市街地整備や交通環境改善に係る調査検討業務を発注し、地元権利者等と意見交換を行いながら、ビジョンの具体化に向けた検討や地元検討組織等の設立に向けた支援を行ってきた。 | | | |
| 2016(H28)年度の取り組み | 予定・目標 | ①地元権利者や関係機関とともに協議・検討してきた内容をもとに、「枚方市駅周辺の将来のまちの姿」の一例をイメージ図として公表し、市民会館・市役所庁舎が含まれる街区及びその周辺区域について、民間活力導入を検討するための検討パートナーの公募を行い、具体的な検討を行う。 ②官公庁団地が含まれる街区及び大阪府住宅供給公社等が含まれる街区については、市街地再開発事業に係る権利変換及び事業計画モデルを作成する。 ③その他街区については、引き続き地元検討組織等への支援を行う。 | | | |
| | 実績（評価） | ①平成28年6月に枚方市駅周辺の将来イメージについて、全体整備イメージ図やイメージパンフレットを公表した。 平成28年10月に京阪HD㈱及び㈱ソウ・ツーと締結した三者協定や北大阪商工会議所が中心になり、市と協力して設置した枚方市駅周辺活性化協議会により、土地利用やエリアマネジメントの推進に向けて検討を行った。 ②平成28年7月契約の業務委託により、権利変換及び事業計画モデルの複数パターンを作成し、最適モデルについて検討を行った。 ③平成28年7、8月に、全体イメージ図等を用いてまちづくりのイメージを説明した。 | | | |

| | | |
|------------------|--------|---|
| 2017(H29)年度の取り組み | 予定・目標 | ①-1公社等が含まれる街区の市街地再開発事業に係る都市計画決定に向けた検討を行う。 ①-2市民会館、市役所庁舎が含まれる街区及び官公庁団地が含まれる街区の市街地再開発事業に係る都市計画決定に向けた検討を行う。 ②ひらかたサンブラザビル及び旧三越が含まれる街区の地元検討組織等への支援を行う。 ③各協議体を活用しながら、民間活力導入について事業実現化に向けた検討を行う。 |
| | 実績（評価） | ①-1公社等が含まれる街区において、事業計画をモデル的に検討するA調査を実施した。 ①-2市民会館、市役所庁舎が含まれる街区及び官公庁団地が含まれる街区において、事業計画をモデル的に検討するA調査を実施した。平成29年8月に国・市は⑤街区で庁舎再編の検討及び府は③街区へ移転することを確認した。平成30年3月に枚方市新庁舎整備基本構想意見聴取会を設置し、現庁舎の現状と課題について意見聴取を行うとともに、市庁舎の利用頻度や利用目的及び新庁舎に求めるニーズについて調査するため、新庁舎整備に関する市民アンケートを実施した。 ②平成29年5、10月に、現在の取り組み内容や今後の予定を地権者に説明した。 ③平成29年6月、平成30年2月に三者協定による責任者会議を開催した。平成29年9月に枚方市駅周辺再整備基本計画アドバイザー選定審査会を設置。民間アドバイザーを4者選定し、協定締結（平成30年3月に1者と協定解除）した。 |
| 2018(H30)年度の取り組み | 予定・目標 | ①-1公社等が含まれる街区の市街地再開発事業に係る都市計画決定に向けた検討を行う。 ①-2市民会館、市役所庁舎が含まれる街区及び官公庁団地が含まれる街区の市街地再開発事業に係る都市計画決定に向けた検討を行い、あわせて、枚方市新庁舎整備基本構想の策定に向けた取り組みを行う。 ②ひらかたサンブラザビル及び旧三越が含まれる街区の地元検討組織等への支援を行う。 ③各協議体や民間アドバイザー協定を活用し、民間活力導入に関する検討を行うとともに、枚方市駅周辺再整備基本計画の策定に向けた取り組みを行う。 |
| | 実績（評価） | ①-1公社等が含まれる街区の市街地再開発事業に際して、平成30年12月に準備組合が設立されたため、都市計画決定に向けた手続きを推進した。 ①-2市民会館、市役所庁舎が含まれる街区及び官公庁団地が含まれる街区の市街地再開発事業に係る都市計画決定に向けた検討と併せ、他の事業手法についても検討を進めた。枚方市新庁舎整備基本構想意見聴取会や枚方市新庁舎整備基本構想市民ワークショップの意見を踏まえ、枚方市新庁舎整備基本構想の素案を平成30年12月に示した。 ②平成30年6月、平成31年2、3月に、ひらかたサンブラザビルの地権者に対し現在の取り組み内容の説明及び意見交換を行った。 ③新たに導入する機能や最適な事業手法などを検討するうえで、市場性や実現性など民間事業者のノウハウを活用するため、民間アドバイザー等との意見交換などを踏まえ、枚方市駅周辺再整備基本計画の素案を平成30年12月に示した。また、枚方市都市再生緊急整備地域準備協議会を平成30年7月に設置し、平成30年8月、平成31年2月に開催した。 |
| 2019(R1)年度の取り組み | 予定・目標 | ①-1公社等が含まれる街区の市街地再開発事業に向けた取り組み ①-2市民会館、市役所庁舎が含まれる街区及び官公庁団地が含まれる街区の市街地再開発事業に向けた取り組み ②→推進 ③→推進 |
| | 実績（評価） | ①-1 枚方市駅周辺再整備ビジョンの実現に向けて、公社等が含まれる街区での市街地再開発事業について、準備組合へ調査設計計画費（事業計画作成等）に対する補助金の交付および技術的支援を行い、令和元年10月の都市計画決定を経て令和2年3月に枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業及び組合設立が大阪府から認可された。 ①-2 関係者などとの意見交換を行いながら、最適な事業手法の検討や「安全・安心の拠点」として枚方消防署の移転も含めた検討に着手した。 ② 南口駅前広場を含む街区に含まれるひらかたサンブラザビル1号館みどり会より、現状と同様の立地要望を受けたため、ニッペパーク岡東中央の一部を活用した駅前広場の配置等の検討に着手した。 ③ 平成30年12月に示した枚方市駅周辺再整備基本計画と枚方市新庁舎整備基本構想の各素案を基に、令和元年12月に、「さらなる検討の視点」としてウォークブルの推進等を取り入れるとともに、街区毎の特性を考慮した事業手法の比較(案)、事業の実施に向けて想定する最短でのスケジュールを示した。また、民間活力の導入を促進する取り組みの一環として、国や大阪府などの関係者と都市再生緊急整備地域の政令指定に向けた協議、調整を進め、令和2年1月に「枚方市駅周辺地域」が新たに国から指定された。 |
| 備考 | | |

| | | | |
|------------|---|------------|----------------|
| 課題・今後の対応 | 枚方市駅周辺再整備ビジョンのさらなる具体化に向け、議会研究チーム報告書の提案等を踏まえるとともに、最適な事業手法や財源確保策等について、さらなる検討を行い、適宜、議会や市民、事業者等と内容を共有し、熟度を高めながら、再整備基本計画の策定に取り組む。また、まちの価値や魅力の向上のために、市民・事業者・地権者などが、地域特性を活かし、施設の利活用や維持管理を通して、その中心的な役割を担う仕組みづくりや多くの方が主体的に関わり・取り組むといったエリアマネジメントの実現に向けた検討を進める。 新庁舎の整備については、新庁舎整備基本構想の策定に向けた取り組みとあわせ、安全・安心拠点としての機能をより発揮できるよう、枚方消防署の老朽化対策を加え国・府と公有財産の最適利用や効率的なまちづくりの具体化に向けた検討を引き続き進める。また、利便性の高い市駅前において、現行の行政サービスを継続させながら、市民窓口機能や図書館機能等の拡充などを図ることにより、高齢者をはじめ、妊娠期から子育て期に至る行政サービスを一体となって提供する拠点の具体化を進める。 | | |
| 達成状況（実行計画） | ○:達成に向けて進行・継続中 | 達成状況（市長公約） | ○:達成に向けて進行・継続中 |

関連指標

| 指標名 | 施策指標 | 指標の実績（評価） | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | 目標値(R1) | 単位 |
|--|------|-----------|--|-------|-------|-------|-------|-----|---------|----|
| 枚方市駅利用者の市域人口に対する割合 | ○ | | 22.4 | 23.0 | 22.7 | 23.2 | 23.6 | | - | % |
| 指標の説明 | | | ・本市人口の現状として、自然減・社会減の状態が続いており、平成30年度実績においても市域人口は減少傾向にあるが、乗降客数の増加に伴い指標が増加したと考えられる。 ・令和元年度の実績については、令和3年3月頃に確認できる予定である。 | 当初目標値 | 達成年度 | | | | | |
| 枚方市駅の乗降客数(日あたり)／市域人口 | | | | | | | | | | |
| 指標名 | 施策指標 | 指標の実績（評価） | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | 目標値(R1) | 単位 |
| 枚方市駅周辺の人口 | | | 2,243 | 2,505 | 2,478 | 2,452 | 2,437 | 精査中 | - | 人 |
| 指標の説明 | | | ・本市人口の現状として、自然減・社会減の状態が続いており、市駅周辺においても人口が減少したと考えられる。 ・令和元年度の実績については、令和3年3月頃に確認できる予定である。 | 当初目標値 | 達成年度 | | | | | |
| 枚方市駅周辺再整備ビジョンの範囲を含む市駅周辺（新町1丁目、新町2丁目、大垣内町2丁目、川原町、岡本町、岡東町）における人口 | | | | | | | | | | |
| 指標名 | 施策指標 | 指標の実績（評価） | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | 目標値(R1) | 単位 |
| | | | | | | | | | | |
| 指標の説明 | | | 当初目標値 | 達成年度 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 指標名 | 施策指標 | 指標の実績（評価） | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | 目標値(R1) | 単位 |
| | | | | | | | | | | |
| 指標の説明 | | | 当初目標値 | 達成年度 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |

事業費(決算ベース)

単位:千円

| 年度 | 事業費総額 | 国庫支出 | 府支出金 | 起債 | 受益者負担 | その他 | 一般財源 |
|-------------|---------|---------|------|----|-------|-----|---------|
| 2016(H28)年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2017(H29)年度 | 26,313 | 4,300 | 0 | 0 | 0 | 0 | 22,013 |
| 2018(H30)年度 | 6,426 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,426 |
| 2019(R1)年度 | 692,627 | 338,100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 354,527 |

整備事業の場合の総事業費 0 千円 (建設経費 0 千円 , 用地費 0 千円)

(様式2) 実行計画管理シート

| 事業名 | | 156-2 | 枚方市駅周辺再整備ビジョン推進事業 | | 部・課 | 土木部 | 土木政策課 |
|----------|-------------------|-------|--|--|-----|-----|-------|
| 総合計画との関係 | 基本目標等 | | 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち | | | | |
| | 施策目標等 | | 18 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち | | | | |
| | 取り組みの方向 | | 18-① 利便性が高く、魅力あふれる中心市街地の形成に向けて、商業、文化芸術、居住施設をはじめ、緑化等による景観など、交通結節点におけるさまざまな機能を充実できるよう、枚方市駅周辺の再整備を進めます。 | | | | |
| | (関連施策目標等) | | | | | | |
| | (関連施策目標等) | | | | | | |
| | 4つの重点的に進める施策との関係 | | 4 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる | | | | |
| 総合戦略との関係 | 基本目標 | | 1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める | | | | |
| | 施策目標 | | 5 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち | | | | |
| 市長公約との関係 | | | ＜所信表明・市政運営方針での表現＞ | | | | |
| | 所信表明 | | ○ | 枚方市駅周辺再整備では、これまで検討を行ってきた枚方市駅周辺再整備ビジョンを早期に具体化し、再整備の道筋を確実なものとする。新庁舎の整備については、官公庁団地エリアで国・府・市による庁舎の一体的整備に向けて、民間施設との合築も含めた検討を行い、市民生活を総合的にサポートする拠点の新たな形を示し、その実現に向け取り組みを進める。さらに、現在の市民会館や庁舎敷地などで民間活力の導入を見据えた魅力ある商業施設やホテル、高層マンションの誘致など、賑わいを取り戻すための検討を行う。 | | | |
| | 2016(H28)年度市政運営方針 | | ○ | 枚方市駅周辺の交通環境の改善に向け、天野川に沿った新たな外周道路の整備や北口から総合文化施設へのアクセス道路となる歩道の拡幅、高架下道路を活用したバスを中心とした公共交通の環境改善に向けた取り組みに着手する。また、まちの将来像を見据え、大阪府住宅供給公社枚方団地や京阪電鉄枚方事務所、旧長崎屋枚方店を含む街区については、駅前広場の拡充や防災面などにすぐれた魅力あるまちづくりを一体的に、かつ、できる限り早期に進めるため、市民・事業者等の理解をさらに深めながら市街地再開発事業の事業化に向け取り組むとともに、平成30年度を目標に都市計画決定をめざす。併せて、旧三越枚方店を含む街区については、市民・事業者と連携・協力しながら、駅前広場の拡充や賑わいの創出につながる土地利用の具体化に向け取り組みを進める。特に官公庁団地を含む街区においては、公的ストックの活用モデルとなるよう、国や大阪府と連携・協力しながら、民間施設を含む庁舎の一体的整備に向けて、財政負担の軽減などさまざまな角度から効率的・効果的な整備手法を検討する。現市民会館の跡地を含む街区への民間活力導入を検討し、魅力ある商業施設やホテル、高層マンションの誘致を働きかける。これら枚方市駅周辺再整備を全体的かつ円滑に推進していくためには、市民・事業者をはじめ多様な主体との協働が必要であり、そのため、現在、北大阪商工会議所と協力して取り組んでいる枚方市駅周辺活性化検討準備会を発展させるなど、新たな協議会組織の立ち上げを進める。併せて、庁内体制の強化を図るため、戦略監を枚方市駅周辺再整備の総合調整担当に位置づける。 | | | |
| | 2017(H29)年度市政運営方針 | | ○ | 枚方市駅周辺再整備ビジョンのさらなる具体化に向けては、まちの将来像を見据え、市駅周辺に多くの人が集まることはもとより、商業や交流・賑わいの中心拠点として発展させていくことを念頭に置き取り組んでいく。あわせて、新庁舎の整備については、国や大阪府と連携・協力するとともに、まちづくり全体を見据えて検討を進める必要がある。そのため、新たに担当部署を設置するなど庁内体制の強化を図り、平成29年度のできる限り早い時期に、具体化に向けた道筋を明らかにする。さらに、市駅周辺の活性化を促進するため、北大阪商工会議所や事業者との連携によるエリアマネジメントを推進する。枚方市駅周辺の交通環境の改善については、引き続き、天野川に沿った新たな外周道路の整備や枚方市駅北口から(仮称)総合文化芸術センターへの歩行者動線の整備、駅高架下道路を活用したバスを中心とする公共交通の環境改善に向けた検討を進める。 | | | |
| | 2018(H30)年度市政運営方針 | | ○ | ・枚方市駅周辺再整備については、20年、30年後の未来においても歴史や文化、自然など多くの地域資源を生かした魅力あふれる本市の中心拠点の実現に向けて、国・府などと連携・協力して取り組みを進めている。平成30年度は、その実現可能なロードマップを明らかにするため、本市の財政状況を踏まえつつ、民間アドバイザーからの意見や枚方市駅周辺活性化協議会、三者協定に基づく事業者との意見交換などを行いながら枚方市駅周辺再整備基本計画を策定し、連鎖的なまちづくりの具体化を推し進める。 ・歩道拡幅や天野川に沿った外周道路の整備など、交通環境の基盤整備を進める。 ・枚方市駅北口駅前広場から府住宅供給公社枚方団地、京阪電鉄枚方事務所を含むエリアである③街区については、ホテルの誘致をはじめとして、住居や商業、健康・医療、行政などの機能の整備に向け、地権者などと協議を進め、多くの人の交流促進や都市機能の充実をめざす。具体的には、都市計画決定に向けて、北口駅前広場の拡充をはじめ③街区の土地利用計画案を示すとともに準備組織を立ち上げるなど、市街地再開発事業の実施に向けた取り組みを進める。 ・これまで以上に便利になったと感じてもらえるよう、図書館機能をはじめ駅近のメリットを生かした市役所の窓口など、行政機能の充実に向けた検討を行う。 | | | |

| | |
|------------------|---|
| 事業概要 (目的・内容等) | <p>枚方市駅周辺地域が、本市の中心市街地として魅力あふれる賑わいのあるまちとなるよう地域に関わる方々と連携を図りながら、枚方市駅周辺再整備ビジョンの実現に向けた取り組みを進める。</p> <p>【拡充(平成28年度当初)】</p> <p>第1期実行計画として交通環境の改善に向けた取り組みを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外周道路(京都守口線～枚方藤阪線) ・歩行者動線(北口～新町2丁目地区) ・京阪枚方市駅の高架下利用(普通車両の進入禁止) |
|------------------|---|

取り組み状況

| | | |
|----------------------|---|--|
| これまでの取り組み 状況 | <p>・枚方市駅周辺再整備ビジョン対象エリアの土地利用や事業手法等の検討を行い、これらと並行して地元検討組織等の設立に向けた支援や関係権利者等との意見交換を行った。また、枚方市駅北口・南口駅前広場の拡充、外周道路の整備、歩行者動線の整備についての概略検討を行った。</p> <p>・本ビジョン対象エリアに設定した各街区の内、官公庁団地が含まれる街区については、国・府・市による連絡会議を設置し、大阪府住宅供給公社・京阪電鉄・旧長崎屋が含まれる街区については権利者等との検討協議会を設置した。ひらかたサンプラザビルが含まれる街区については地元検討組織が設立され、旧三越が含まれる街区については、権利者の合意形成に向け継続的に意見交換を行っている。また、北大阪商工会議所が設置した枚方市駅周辺の活性化検討組織にも参画している。</p> | |
| 2016(H28)年 度の取り組み | 予定・目標 | <p>・枚方市駅周辺の交通基盤整備に向けた取り組みを実施(詳細設計、各関係機関協議、社会実験など)</p> <p>①外周道路(京都守口線～枚方藤阪線)</p> <p>②歩行者動線(北口～新町2丁目地区)</p> <p>③京阪枚方市駅の高架下利用</p> |
| | 実績(評価) | 枚方市駅周辺の交通基盤整備に向けた取り組みとして、詳細設計及び用地測量、各関係機関協議、歩道の拡幅等の道路空間再配分を見据えた社会実験などを実施。 |
| 2017(H29)年 度の取り組み | 予定・目標 | <p>・枚方市駅周辺の交通基盤整備に向けた取り組みを実施(詳細設計及び用地測量、各関係機関協議など)</p> <p>①外周道路(京都守口線～枚方藤阪線)</p> <p>②歩行者動線(北口～新町2丁目地区)</p> <p>③京阪枚方市駅の高架下利用(普通車両の進入禁止)</p> |
| | 実績(評価) | 枚方市駅周辺の交通基盤整備に向けた取り組みとして、詳細設計及び用地測量、各関係機関協議、歩道の拡幅等の道路空間再配分を見据えた社会実験などを実施。 |
| 2018(H30)年 度の取り組み | 予定・目標 | <p>・枚方市駅周辺の交通基盤整備に向けた取り組みを実施(用地取得、各関係機関協議など)</p> <p>①外周道路(京都守口線～枚方藤阪線)</p> <p>②歩行者動線(北口～新町2丁目地区)</p> <p>③京阪枚方市駅の高架下利用(普通車両の進入禁止)</p> |
| | 実績(評価) | 枚方市駅周辺の交通基盤整備に向け、引き続き、各関係機関協議、地元協議を行い、歩道の拡幅等、歩行者動線の確保に向けた取り組みを実施。 外周道路及び京阪枚方市駅の高架下利用については、3街区に合わせた整備にむけて、取り組みを実施。 |
| 2019(R1)年度 の取り組み | 予定・目標 | <p>・枚方市駅周辺の交通基盤整備に向けた取り組みを実施(工事)</p> <p>②歩行者動線(北口～新町2丁目地区)</p> |
| | 実績(評価) | 枚方市駅周辺の交通基盤整備に向けた取り組みとして、歩道の拡幅、エスカレーターの設置など、歩行者動線の確保に向けた取り組みを実施。 |
| 備考 | | |

| | | |
|------------|--|---------------------------|
| 課題・今後の対応 | <p>・本事業の実施にあたり、社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業など)の活用を検討(ただし、再開発事業との連動の必要性有。)</p> <p>・市駅前線の無電柱化事業について③街区や各関係機関との調整が必要</p> <p>・交通管理者や交通事業者、道路及び河川管理者など各関係機関との調整が必要</p> <p>・①外周道路(京都守口線～京阪軌道敷)については、ビジョンによる整備の必要性があるものの、現在、地域の同意が得られず、整備が困難な状況であるため、今後、③街区の外周道路整備時期を見据えたなかで、事業の実施を判断していくことが必要</p> <p>・③京阪枚方市駅の高架下整備については、北口ロータリーの整備にあわせて、警察協議など各関係機関との調整を行っていく</p> | |
| 達成状況(実行計画) | ○:達成に向けて進行・継続中 | 達成状況(市長公約) ○:達成に向けて進行・継続中 |

関連指標

| 指標名 | 施策指標 | 指標の実績（評価） | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | 目標値(R1) | 単位 |
|-------|------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|----|---------|------|
| | | | | | | | | | | |
| 指標の説明 | | | | | | | | | 当初目標値 | 達成年度 |
| | | | | | | | | | | |
| 指標名 | 施策指標 | 指標の実績（評価） | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | 目標値(R1) | 単位 |
| | | | | | | | | | | |
| 指標の説明 | | | | | | | | | 当初目標値 | 達成年度 |
| | | | | | | | | | | |
| 指標名 | 施策指標 | 指標の実績（評価） | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | 目標値(R1) | 単位 |
| | | | | | | | | | | |
| 指標の説明 | | | | | | | | | 当初目標値 | 達成年度 |
| | | | | | | | | | | |

事業費(決算ベース)

単位:千円

| 年度 | 事業費総額 | 国庫支出 | 府支出金 | 起債 | 受益者負担 | その他 | 一般財源 |
|-------------|--------|--------|------|----|-------|-----|--------|
| 2016(H28)年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2017(H29)年度 | 24,866 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 24,866 |
| 2018(H30)年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2019(R1)年度 | 88,267 | 40,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 48,267 |

整備事業の場合の総事業費

| | | | | | | |
|----|-------|--|----|------|--|-----|
| 千円 | (建設経費 | | 千円 | ，用地費 | | 千円) |
|----|-------|--|----|------|--|-----|

（様式2） 実行計画管理シート

| | | | | | | |
|----------|-------------------|-----|---|--|-----|---------------|
| 事業名 | | 157 | 枚方市駅周辺賑わい創出事業 | | 部・課 | 観光にぎわい部 観光交流課 |
| 総合計画との関係 | 基本目標等 | | 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち | | | |
| | 施策目標等 | | 18 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち | | | |
| | 取り組みの方向 | | 18-② 枚方市駅周辺が、人々が集い交流し、さまざまな活動が活発に展開される拠点となるよう、さまざまなイベントの開催など賑わいづくりを創出します。 | | | |
| | (関連施策目標等) | | | | | |
| | (関連施策目標等) | | | | | |
| | 4つの重点的に進める施策との関係 | | 4 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる | | | |
| と総合戦略の関係 | 基本目標 | | 1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める | | | |
| | 施策目標 | | 5 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち | | | |
| 市長公約との関係 | | | ＜所信表明・市政運営方針での表現＞ | | | |
| | 所信表明 | | | | | |
| | 2016(H28)年度市政運営方針 | | ○ | 賑わいの創出やまちの魅力を高めるため、事業者や地域などと連携・協力し、地域資源を活用したイベントを開催することで、市内外の人々による交流を促進する。 | | |
| | 2017(H29)年度市政運営方針 | | | | | |
| | 2018(H30)年度市政運営方針 | | | | | |

| | | | | | |
|------------------|--|---|--|--|--|
| 事業概要 (目的・内容等) | | 枚方市駅周辺のにぎわい創出を目的として、岡東中央公園(にぎわい広場)で開催される各種イベント等を支援する。 【にぎわい空間創出事業】 市民が開催する各種イベントなどが効果的に実施されるように、会場の確保や備品の貸し出し、広報などの支援を行う。 (支援内容) <ul style="list-style-type: none">・岡東中央公園の予約・テント、机、椅子等の貸し出し・広報ひらかた等への掲載 | | | |
|------------------|--|---|--|--|--|

取り組み状況

| | | | | | |
|------------------|--------|---|--|--|--|
| これまでの取り組み状況 | | 各種イベントに会場の確保や備品の貸し出し、広報などの支援を行った。 平成26年度には、岡東中央公園のにぎわいステージに屋根が設置された。 | | | |
| 2016(H28)年度の取り組み | 予定・目標 | ・岡東中央公園(にぎわい広場)で開催される各種イベントの会場確保、備品の貸し出し、広報による発信等の支援 | | | |
| | 実績(評価) | 市民団体による市駅周辺のにぎわいの創出を目的とした音楽ライブや模擬店の出店など岡東中央公園における各種イベントを支援した。 | | | |
| 2017(H29)年度の取り組み | 予定・目標 | →推進 | | | |
| | 実績(評価) | 市民団体による市駅周辺のにぎわいの創出を目的とした音楽ライブや模擬店の出店など岡東中央公園における各種イベントを支援した。 | | | |
| 2018(H30)年度の取り組み | 予定・目標 | →推進 | | | |
| | 実績(評価) | 市民団体による市駅周辺のにぎわいの創出を目的とした音楽ライブや模擬店の出店など岡東中央公園における各種イベントを支援した。 また、本事業のより多くの利用促進を図るため、対象団体・対象イベントの条件を変更するなど、「にぎわい空間創出事業市民イベント支援要領」を改正した。 | | | |

| | | |
|-----------------|--------|--|
| 2019(R1)年度の取り組み | 予定・目標 | →推進 |
| | 実績（評価） | 市民団体による市駅周辺のにぎわいの創出を目的とした音楽ライブや模擬店の出店などニッパーク岡東中央における各種イベントを支援した。 また、さらなる市駅周辺の賑わいを創出するため、岡東中央公園以外での制度の適用や利用条件の緩和など、制度の充実・拡大に向けた検討を行った。 |
| 備考 | | |

| | | | |
|------------|--|------------|----------------|
| 課題・今後の対応 | 制度の利用促進及び市駅周辺のさらなる賑わい創出を図るため、岡東中央公園以外の公園等での制度適用や利用条件の緩和など、要領の見直しを行う。 | | |
| 達成状況（実行計画） | ○：達成に向けて進行・継続中 | 達成状況（市長公約） | ○：達成に向けて進行・継続中 |

関連指標

| | | | | | | | | | | | |
|------------------------------------|------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----|--|
| 指標名 | 施策指標 | 指標の実績（評価） | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | 目標値(R1) | 単位 | |
| 枚方市駅周辺の広場におけるイベント参加者数 | ○ | | 139,300 | 167,620 | 199,300 | 185,300 | 195,400 | 210,200 | 200,000 | 人 | |
| 指標の説明 | | | | | | | | 当初目標値 | 達成年度 | | |
| 枚方市駅周辺の岡東中央公園や岡本町公園で実施されたイベントの参加者数 | | | | | | | | 145,000 | H27 | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 指標名 | 施策指標 | 指標の実績（評価） | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | 目標値(R1) | 単位 | |
| にぎわい空間創出事業新規団体数 | | | - | - | - | - | 3 | 2 | 3 | 団体 | |
| 指標の説明 | | | | | | | | 当初目標値 | 達成年度 | | |
| にぎわい空間創出事業に新規で参加された団体数 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 指標名 | 施策指標 | 指標の実績（評価） | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | 目標値(R1) | 単位 | |
| | | | | | | | | | | | |
| 指標の説明 | | | | | | | | 当初目標値 | 達成年度 | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 指標名 | 施策指標 | 指標の実績（評価） | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | 目標値(R1) | 単位 | |
| | | | | | | | | | | | |
| 指標の説明 | | | | | | | | 当初目標値 | 達成年度 | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

事業費(決算ベース)

単位:千円

| 年度 | 事業費総額 | 国庫支出 | 府支出金 | 起債 | 受益者負担 | その他 | 一般財源 |
|-------------|-------|------|------|----|-------|-----|------|
| 2016(H28)年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2017(H29)年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2018(H30)年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2019(R1)年度 | 0 | | | | | | |

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）